

# こども・若者の居場所づくり事業

事業開始 令和8年3月中予定

予算額 8,393千円

財源 (都) 子供・長寿・居場所区市町村補助事業補助金 (10/10)

検討関係課 子育て応援課、企画政策課、総務契約課

## 経緯

- R6.12.16に開催した青梅総合高校と市長・教育長との意見交換会において、高校生から「勉強場所が少ない」、「遅くまで使える場所がない。」、「教え合いの場がない。」との意見があった。
- 令和7年度開始の「青梅市こども計画」において、重点事業では「こどもの意見聴取・意見表明機会の充実」として、こども会議・若者会議の設置などに取り組むこととしている。また、同計画のチャレンジ事業として、「こども・中高生の居場所づくり」、「若者が気軽に利用できる居場所の整備」を設定している。

## 事業目的

- 中高生・若者が利用できる居場所を創設する。  
⇒こどもたちの意見を反映
- 意見の表明や協議をする空間として醸成を図る。  
⇒こども会議・若者会議の核となるこどもたちを期待  
こども計画の基本方針「こどもがまんなかのまちづくり」に則し、こどもの声を市政に反映させると同時に、将来を担う大人への成長を促す機会とする。

## 事業内容

- 市役所2階姉妹都市コーナーに自主学習スペース（14席）を設置し、平日夜間および土日昼間に、中高生・若者が集う居場所を整備する。
- 自主学習、語らい・交流、共同作業など、自由に利用できる。

利用時間・対象 平日17:15～20:00…高校生～若者（29歳まで）

休日 9:00～17:00…中学生～若者（29歳まで）

利用方法 登録不要 利用時に、年齢、性別、居住地を収集

利用設備 フリーWifi 駐車券無料処理機 施錠キャビネット

防犯対策 防犯カメラ2台増設 管理員1名配置

ルール マナーを守って自由利用 課題解決を利用者と共に考えていく。

## 事業実施時間

